

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(1月11日から1月17日回答分)

	症例数	手術	
陽性	5	帝王切開	3
		脳外科	2

手術室で気管挿管	3	McGRATH	2
(喉頭展開1回で挿管)	(3)	喉頭鏡	1
区域麻酔	4		
既挿管	3		

COVID-19疑い患者	5	開腹術、腹部外科	2
		骨折手術	1
		脳外科	1
		頭頸部手術	1

PPE	フェイスシールド	8
	ゴーグル	1
	シールド付きマスク	1
	記載なし	0

事前シミュレーション実施		あり	7
		なし	3

	N95	10
	PAPR	0
	サージカルマスク	0
	手袋2枚	10
	手袋1枚	0

自由記載

陽性	開頭術	当院のCOVID-19対策方法で行った。
疑い	開腹術	夜間で人手が少なかった。
疑い	骨折手術	該当患者の入院病棟でCOVID-19陽性患者が発生した。事前に複数回PCR検査を施行し、陰性であったが念のため疑い患者として対応した。
疑い	腹部外科	緊急でPCR検査が間に合わなかった。抜管は患者全体を覆うビニールカバーを設置して行なっているが、抜管操作がしづらく咳と嘔吐を誘発したが、誤嚥はしなかった。翌日にPCR陰性の結果を得た。